

製品エラーを 迅速・確実に解決するための FTAセミナー

～ 再発防止と未然防止を学び、対策する ～

開催日時 **2026年 1月19日(月)** **東京会場**
2026年 2月20日(金) **名古屋会場** 各回とも 9:30～17:30

対象

- 製造・生産技術部門の管理者・スタッフの方
- 品質管理・品質保証部門の管理者・スタッフの方
- 品質向上、品質改善を推進されている方
- 製品クレームの解決を推進されている方

講師 **井筒 政弘 氏**
株式会社DAPリアライズ 代表

参加料(税込) 法人会員：55,000円/1名
会員外：66,000円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。)
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申し込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申し込みください。

本セミナーのねらい

本セミナーは、製品エラー(故障や不具合)が発生した際に、FTA(Fault Tree Analysis 故障の木解析)を適切に活用することで、迅速かつ確実に原因を特定し、具体的で根本的な対策を立案できることをねらいとしています。

グループごとに、対象製品(小型懐中電灯)について製品エラーが発生した状況を具体的に想定した上で、実際にFT図を作成し、対策シートを作成する演習を実施します。その際、FTAについての基本的な考え方を十分に説明するとともに、有効なFT図を作成するためのノウハウやコツについても伝授いたします。

プログラム

9:30～17:30 [昼食] 12:00～13:00

1 FTAの概要と目的

- FTAとは?
- FT図(事象記号と論理記号)
- 再発防止と未然防止(予防)

2 製品エラーと故障モード

- 製品エラーと信頼性
- 製品エラー → 製品事故 → 危害
- 製品の階層構造(SBS)
- 故障モード
- 故障モードについての留意点
- 恒常的故障モードと経時的故障モード

3 製品エラーの原因の深掘り

- 2種類の原因(=起回事象と要因)
 - 内部起回事象と外部起回事象
- グループ演習①
- 「経時的故障モード」と「恒常的故障モード」
 - 諸々の要因(発現・促進要因、誘発要因、結合・拡大要因)
 - 設計ミスと製造ミス

4 FT図を作成する際の留意点

- FTAと現物調査
 - FT図における展開とその「底」
- グループ演習②
- トップダウンアプローチとボトムアップアプローチ
 - 故障モードの発生防止と影響軽減
 - FT図作成におけるノウハウ

5 信頼性向上のための対策

- 3段階の再発防止
- 内部起回事象の発生防止と影響軽減
- 外部起回事象への対策
- 未然防止管理表

グループ演習③

※プログラム内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

